

おしゃれな リサイクルアートの のすすめ

新しい年!部屋のジメージを一新しませんか?

捨てられずに部屋の片隅に残っているきれいな
包装紙やアンティークな切手。これらを使ってリサイクルアートに
チャレンジしてみたいはかがでしよう。
部屋の片隅に飾るだけで、部屋のイメージが一新。
新年を迎え、おしゃれで素敵な部屋で暮らしを始めましょう。

切手のデコパージュ

●素敵な切手を使って缶をアレンジ

水につけてはがした切手を、木工ボンドで缶に貼付け、デコパージュ用のプリントシーラー（手芸店などで購入できますが、水性ラッカーでも代用できます）を上からハケで塗ります。缶はなるべく小さなものの方がステキに仕上がります。鳥の切手だけとか、魚の切手だけという風にテーマを分けて貼るのもおすすめです。



●切手のランプシェード

市販の布製ランプシェードに、お気に入りの切手（日本の昆虫シリーズなど）を木工用ボンドで貼ったら完成です。灯りがついた時に透ける色の切手を選ぶのがおすすめです。たくさん集めた切手の中からどれにしようかと選び出す作業もなかなか楽しいものです。



マガジンのデコパージュ

●プランターには古い雑誌を

観葉植物などを入れる鉢もデコパージュに最適です。英字新聞や古い雑誌を数ページ手でちぎり、裏に木工用ボンドをぬり、素焼きの鉢に塗り付けるだけ。ところどころ地色を活かしたり、全面貼ることにより、趣が変わります。この単純作業は、意外に心が落ち着き、楽しくできます。



フィルムでカバー

●落ち葉や押し花をあしらって

ラミネートフィルムを使うと、落ち葉をサンドしてブックマークを作ったり、写真や押し花を貼ったランチョンマットを作ったり、缶に貼ったりと、いろいろなアレンジが楽しめます。まずは、大手の文具店で市販されているフィルムルックスに落ち葉などを挟み、切り抜くだけ。簡単でできあがります。



※デコパージュとは家具やお皿、缶などに切りぬいた絵を貼って装飾する手法のことです。

バックナンバー ●『第270号布を使って模様替え』『第252号ナチュラル素材で木の実・葉っぱで小粋なインテリア』『第206号リースのある家』『第191号ペインティングでリ・メイク』もあわせてご覧ください。